



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永友 保則
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 土屋 修 (TEL) 03-3820-1111
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,181	6.2	1,913	3.7	1,332	3.3	259	△49.7
24年3月期第2四半期	25,599	△2.0	1,845	18.6	1,289	35.0	516	338.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 193百万円(△51.4%) 24年3月期第2四半期 398百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.45	—
24年3月期第2四半期	4.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	86,788	22,001	23.6	192.98
24年3月期	88,140	22,276	23.6	195.95

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 20,510百万円 24年3月期 20,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,900	3.1	3,900	7.4	2,800	10.9	1,200	7.7	11.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	113,441,816株	24年3月期	113,441,816株
25年3月期2Q	7,158,267株	24年3月期	7,154,492株
25年3月期2Q	106,285,007株	24年3月期2Q	106,290,073株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第2四半期の概況

当第2四半期の経営成績は、食品部門や不動産部門の増収により、売上高は271億81百万円（前年同期比6.2%増）となりました。営業利益は、物流、情報、不動産部門で増益となり、金融・証券部門の赤字幅も縮小したことから19億13百万円（同3.7%増）となりました。また、経常利益は13億32百万円（同3.3%増）となりました。四半期純利益は、金山株式会社の事業譲渡と事業廃止に伴う事業譲渡損や事業整理損等の特別損失の増加等により、2億59百万円（同49.7%減）となりました。

②セグメント別の概況

〈物流部門〉

物流部門では、売上高は一括受託業務の収入や不動産賃貸料が増加したものの一部荷主の解約の影響もあり96億91百万円（前年同期比0.0%増）となりました。営業利益は一括受託業務での効率的な作業の実施や不動産賃貸料の増加等により14億38百万円（同5.8%増）となりました。

〈食品部門〉

食品部門では、量販・外食向けである精米販売は36千玄米トン（前年同期比1.5%減）となり、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は当用買いの影響を受けて15千玄米トン（同15.9%減）となり、総販売数量は51千玄米トン（同6.4%減）となりました。売上高は販売単価の上昇により149億9百万円（前年同期比11.0%増）となりましたが、営業利益は販売数量の減少と仕入価格の上昇による販売差益の減少により1億43百万円（同39.5%減）となりました。

〈情報部門〉

情報部門では、棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務において主要顧客の長期レンタルが中止になったこと等から、売上高は7億95百万円（前年同期比1.3%減）となりましたが、システム開発において既存顧客の案件が増加し、新規顧客の獲得も順調に進み、さらには内製比率の向上による経費削減も寄与したことから、営業利益は74百万円（同3,560.5%増）となりました。

〈不動産部門〉

不動産部門では、引続き厳しい状況にはあるものの、「ヤマタネビル新館」の稼働が寄与し、売上高は16億96百万円（前年同期比14.1%増）となり、営業利益は7億20百万円（同12.2%増）となりました。

〈金融・証券部門〉

金融・証券部門では、証券市場における市況低迷の影響と証券業からの撤退により、売上高は89百万円（前年同期比53.7%減）となり、営業損益は89百万円の損失（前年同期は1億38百万円の損失）となりました。なお、連結子会社の金山証券株式会社は、平成24年7月1日に事業譲渡により他社へ事業を分離し、金融商品取引業を廃止いたしました。これにより商号を「金山株式会社」に変更しております。また、平成24年8月31日開催の同社臨時株主総会において解散を決議し、現在清算手続き中であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

資産合計は、現金及び預金や有形固定資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金、たな卸資産等の流動資産や投資その他の資産が減少したこと等により前連結会計年度末比13億52百万円減少し、867億88百万円となりました。

②負債

負債合計は、営業未払金が増加したこと等から、前連結会計年度末比10億76百万円増加し、647億87百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が増加したこと等から、前連結会計年度末比2億75百万円増加し、220億1百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後を展望しますと、平成24年産米の動向が収益に影響を及ぼす可能性があります。全体としては概ね計画どおりに推移しておりますので、平成24年5月11日発表の通期業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,332	3,178
受取手形及び売掛金	6,417	5,910
たな卸資産	1,958	889
その他	1,526	651
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,232	10,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,559	15,479
土地	46,457	46,383
その他(純額)	8,557	6,497
有形固定資産合計	67,574	68,360
無形固定資産	1,597	1,557
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,391	5,963
貸倒引当金	△84	△93
投資その他の資産合計	6,306	5,869
固定資産合計	75,478	75,786
繰延資産	429	374
資産合計	88,140	86,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,440	1,712
短期借入金	8,543	8,039
1年内返済予定の長期借入金	2,846	2,282
1年内償還予定の社債	2,184	3,085
その他	2,916	2,551
流動負債合計	18,930	17,670
固定負債		
社債	22,366	20,085
長期借入金	11,772	14,229
退職給付引当金	1,815	1,641
役員退職慰労引当金	157	114
環境対策引当金	121	121
その他	10,697	10,923
固定負債合計	46,932	47,116
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1	—
特別法上の準備金合計	1	—
負債合計	65,863	64,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,775	3,775
利益剰余金	5,722	5,663
自己株式	△1,810	△1,810
株主資本合計	18,243	18,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	730	473
土地再評価差額金	1,852	1,852
その他の包括利益累計額合計	2,583	2,326
少数株主持分	1,449	1,491
純資産合計	22,276	22,001
負債純資産合計	88,140	86,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	25,599	27,181
営業原価	22,068	23,618
営業総利益	3,531	3,563
販売費及び一般管理費	1,685	1,649
営業利益	1,845	1,913
営業外収益		
受取配当金	52	49
その他	20	14
営業外収益合計	72	63
営業外費用		
支払利息	572	550
その他	55	95
営業外費用合計	628	645
経常利益	1,289	1,332
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
固定資産売却益	5	0
金融商品取引責任準備金戻入	1	1
災害損失引当金戻入額	11	—
未払費用戻入額	7	—
特別利益合計	25	3
特別損失		
固定資産除却損	2	17
減損損失	6	—
特別退職金	15	80
事業譲渡損	—	62
事業整理損	—	93
その他	0	40
特別損失合計	25	294
税金等調整前四半期純利益	1,289	1,041
法人税等	663	574
少数株主損益調整前四半期純利益	626	466
少数株主利益	110	206
四半期純利益	516	259

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	626	466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	△272
その他の包括利益合計	△228	△272
四半期包括利益	398	193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321	2
少数株主に係る四半期包括利益	76	191

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	9,689	13,426	805	1,486	192	25,599	—	25,599
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	301	—	96	13	0	412	△412	—
計	9,991	13,426	902	1,500	192	26,012	△412	25,599
セグメント利益 又は損失(△)	1,359	236	2	642	△138	2,102	△256	1,845

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△263百万円及び未実現利益調整額6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流関連」セグメントにおいて、立体駐車場の解体撤去工事の決定に伴い、事業の用に供されなくなることが見込まれるため当該資産について帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、6百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	9,691	14,909	795	1,696	89	27,181	—	27,181
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	273	—	115	9	—	398	△398	—
計	9,965	14,909	910	1,705	89	27,579	△398	27,181
セグメント利益 又は損失(△)	1,438	143	74	720	△89	2,287	△373	1,913

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△273百万円、のれん償却額△107百万円及び未実現利益調整額6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。